

第4回（平成28年度）白川静漢字教育賞

最優秀賞

福井県 坂井市立丸岡南中学校
教諭 堂高 晶子氏



中学校での実践

- 1 主体的な漢字学習をめざした授業づくり
覚えにくかった漢字の字源を調べ、自分なりの覚え方「漢字の覚え方辞典」を作成し発信。
後輩に伝えたい論語の言葉を文中の漢字一字を取り上げながら、字源とともに紹介。
- 2 国語メディアセンターを活用した啓発

評価のポイント

- ・漢字テストで間違えた漢字を選び、覚えるための「辞書を作ろう」というアイデアが、学力を高めたいという生徒の思いとうまく結びついている。
- ・福井県が発行している『漢字教育素材集』を積極的に活用し、福井県の教育を推進している。

優秀賞 京都府 立命館小学校 司書教諭 大橋輝子氏

司書教諭としての実践

- 1 古代文字コーナーの設置
図書室内に古代文字コーナーを常設。本の見出しを古代文字で表記。
- 2 「読書の授業」を活用した指導

評価のポイント

- ・図書室内に古代文字コーナーをつくり、漢字への興味・関心を高めている。
- ・『漢字のなりたちブック』の貸出数が一昨年の5倍に伸びたなど、漢字への興味関心を高めている。
- ・司書教諭として、広く他校の模範となる実践である。

優秀賞 静岡県 翻訳家 ブレット・メイヤー氏

社会教育での実践

- 1 メディアde漢字アート
ラジオ・テレビ番組・SNS を通じ漢字の解説をイラストを用いて発信。漢字の解説本も発刊。
- 2 子供・外国の方de漢字アート
辞書を活用しながら、子供達や欧米、東南アジアを対象に漢字とアートを合成して解説。

評価のポイント

- ・ラジオやテレビで、漢字の解説講座を担当したり、子どもだけでなく外国の方にも絵を使って漢字の成り立ちを説明したりしている。
- ・『ブレット式漢字ドリル』（解説に英訳有）と200字の漢字の成り立ちをイラスト付き英語で解説した本を出版している。

特別賞 東京都 東北芸術工科大学名誉教授

馬場雄二氏

社会教育での実践

漢字の魅力を視覚的視点で研究・制作し、漢字の面白さを楽しく広めることを目的に、ゲーム開発・著書発刊・全国紙への連載、大学での講義・各地での講演・講座等を実施。

評価のポイント

- ・漢字学習関連のグッズの工夫や製品開発に長年携わっている。
- ・漢字のもつ面白さや魅力を教材開発を通して万人に分かりやすく伝えている。
- ・馬場氏の教材やゲームは、小学校の教員の中でも多く利用されている。

特別賞 福島県 喜多方を漢字のまちにする会

観光資源としての実践

- 1 観光資源「漢字のまち喜多方」として展開
古代文字看板の設置・まちめぐりのための漢字マップ作成・漢字ガイドの育成
- 2 「創作漢字コンテスト」の実施
- 3 小学校への出前講義の実施

評価のポイント

- ・漢字（古代文字）のもつ歴史的な意味や美しさを学び、子どもからお年寄りまで、町ぐるみで「楽しみながら生きがいのある生活」に取り組んでいる。
- ・地方のまちおこしとして、町ぐるみで漢字を使ったアートの看板を活用するという発想は、「白川漢字学」を使った地域振興の実例として、一定の評価に値する。